

平塚市市民活動推進補助金 令和元年度事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋	
2 事業名	こどものための学習支援教室	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。 入門コース ・ 発展コース)	21万円
4 実施期間	(開始期日) 平成31年 4月 1日 ~ (完了期日) 令和2年 3月 31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>家庭学習や自主学習に何らかの問題を抱えているために、学校で楽しく勉強できなかったり、通常授業について行かれなくなったりしている小中学生を対象に、放課後や長期休業等の時間に、宿題や授業の補習等をボランティアと楽しく学習することで、子どもたちの学習意欲と学力向上が図れ、学校生活を意欲的に送れるようになることを目指したい。</p> <p>子どもたちの学習や見守りの支援には、市内在住在学在勤の若者や、定年退職後の元教員等の有識者がボランティアとしてあたり、家族や教員とは違った目線で子どもと触れ合うことで、自分の長所や可能性を発見し、認識できる機会も増え、自己肯定感や自尊心を高め培うことも期待できる。</p> <p>また、ボランティアメンバーの中には、高齢の協力者も少なくない。豊富な知識を子どもたちに提供していただき、セカンドライフの活躍の場としても期待できる。引きこもりがちな生活を送っている方々にも協力してもらい、社会との接点の一つになる場としても期待できる。</p>	
6 実施した内容 活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>複数回開催事業の出席者は延べ人数。1~4の会場はいずれも太洋中学校体育館、なお、令和2年3月は休会とした。</p> <p>1. 小学生寺子屋 毎月第2・4木曜日 pm4:30~5:30 19回開催、小学生95名、支援員135名 出席。個別の課題と宿題を中心とした学習、美術鑑賞教室(VTS)等を行った。</p> <p>2. 中学生寺子屋 毎月第2・4木曜日 pm7:00~8:30 25回開催、中学生459名、支援員479名 出席。生徒の希望する教科指導や受験対策等を行った。</p> <p>3. 小学生対象夏休み宿題教室 7、8月に4回開催、小学生41名、支援員28名、ユースボランティア24名 出席。理科実験ではゴミの分別表制作を行った。</p> <p>4. 理科教室 8月15日開催 講師は東海大学大学院生3名、小学生14名、中学生11名、支援員4名、ユースボランティア4名 出席。水の循環と濾過実験を行った。</p> <p>5. 支援員のための研修 基礎研修：5月23日、7月25日、6月20日、7月22日「特別支援の必要な児童 生徒への対応について」出席者27人。12月19日「全国学力状況調査から見た太洋中学校生徒の状況について」出席者14名 他団体主催研修：7月13日「子どもの心を支える」支援員3名 ひらつか市民活動センター。8月22日「神奈川県子ども支援フォーラム」参加会員19名 平塚市中央公民館。11月30日、12月21日「NPOマネジメント講座」支援員1名 ひらつか市民活動センター。12月18日 内閣府「子どもの未来応援フォーラム in 東京」支援員1名 時事通信ホール。1月27日「かなこんネット研修会」支援員1名 アミューあつぎ</p>	

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 小学生寺子屋は、担当者による個別での定期開催により学習習慣が身につけてきている。美術鑑賞教室 VTS は、毎回楽しみにしている児童が多い。自分の考えを周囲に伝わるように考えて言語化する力を養う練習ができてきた。 小学生夏休み宿題教室は、4年目の開催となり、定員を超える参加者があった。多くの太洋中学校生徒とユースボランティアの協力もあって、充実した個別学習支援が提供できた。毎回参加する小学生も定着し、好評を得ている。 理科教室は、大学院生による地域環境問題をテーマに、実験やゲームを用いて飽きずに興味関心を引き出す学習ができた。 中学生寺子屋は、個別学習を定期開催することで、学習習慣が定着してきた。毎月2回、決まった担当者による継続した支援を提供できたことで、学習意欲の向上も図れ、成績向上に結びついた生徒もいた。保護者および生徒アンケートで、適正な学習支援対応に好評を得た。開催回数や学習時間の延長を希望する生徒も多くなり、学習意欲の向上に繋がっていると判断できる。特別支援の必要な生徒へのタブレット端末を使った学習支援も始めた。適正な内容通信学習教材を見つけ、無償配信提供を受けられた。この教材は全ての児童生徒に対応できることが分かり、特に3月の休校期間には、家庭でも学習に取り組むことができた。支援員の負担軽減にもタブレット学習の有効性が判明した。 支援員のための研修は、自主研修を開催する他、他団体主催の研修会を受講することにより、効果的な学習支援の方法や運営にも関心を持つ支援員が増えた。太洋中学校特別支援級担当教諭による研修を通じ、子どものニーズに応じた効果的な学習支援ができた。
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 小学生寺子屋は、学習支援員が少ないため、参加者の募集を広く呼び掛けることができなかった。支援員不足を増やし補うことが今後の課題となる。 小学生夏休み宿題教室は、4回の内、宿題学習が2回と理科教室で、最終回は子どもの要望もありプチ職業体験をする「お店屋さんごっこ」をした。次年度は、宿題学習や弱点補習のための学習日4回を確保し、それ以外に理科教室や楽しい学習に取り組むようにする。 理科教室は、担当する学生が年度により変わることで、継続した学習効果は見込みにくい点がある。今後も、大学の担当教授の理解で、講師の学生をお願いして行く。 中学生寺子屋は、タブレット3台の予算だったため学習したい生徒に十分行き渡らなかった。今後は、台数を増やして学習機会を多くできるようにしたい。インターネット通信環境が整えられず、本年度は、会員の無料WiFiを利用していた。早急に通信設備を整えたい。 支援員のための研修は、開催日や時間的な問題もあり、基礎研修およびスキルアップ研修が十分に行えなかった。今後は、支援員の理解を得て寺子屋開催日以外の日程で十分な研修ができるような計画を立てる予定。
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うのであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小学生対象事業の学習担当には、近隣の高校生に加え、太洋中学校生徒のボランティアも受け入れて、多世代での学習支援ができるようにします。 タブレット学習に必要な機材を増やし、通信機能を設け、全員がタブレット学習に取り組めるよう整備を進めます。 経過年数と共に、家庭環境等の問題を抱えている児童・生徒の数が増加傾向にあることが分かってきた。特に、生活困窮世帯の支援には、学校や行政機関、民生児童委員等との連携を密にして、「一人も取りこぼさない社会」の一助となるよう連携作りを進めます。 一人ひとりの子どもに寄り添い、ニーズに合った学習支援を行うために、支援員の更なる資質向上を図り、子どもと保護者、地域や行政等の関係機関から、信頼される学習支援活動を展開します。 寺子屋学習を始めて4年間が過ぎ、会員や共催・協力団体の理解も深まり、学習支援の効果と必要性を共有できてきた。今後も、参観日や説明会を開催する他、広報や活動紹介の講話等に積極的に取り組みます。 団体運営に関わる人材発掘と育成を進め、盤石な運営体制を構築します。 潤沢な資金確保のために、資金調達の方法を学び、実践します。 ひらつか子ども学習支援ネットワークのメンバーとして、新規活動団体や継続問題等の相談・支援に協力します。 様々な子ども支援活動団体および市民活動団体と協力・連携して、お互いの有益な活動に繋がるように協力します。

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)	
補助金	210,000	210,000	0	平塚市市民活動推進補助金	
① 収入					
団体会計より	52,740	54,339	1,599	事業費の不足分を団体会計より補填	
収入合計	A 262,740	B 264,339	B-A 1,599	発展コース：補助対象経費264,339円×80% = 211,471円 補助限度額 210,000円	
② 支出					
項目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
教材費	92,000 (70,000)	30,454	30,454 (24,000)	-61,546	研修資料 22,660円、学習ドリル等 4,190円、 夏休み宿題教室材料 1,604円、マネジメント講座 2,000円
消耗品費	33,500 (30,000)	56,117	56,117 (45,000)	22,617	インク、トナー、コピー用紙 41,961円、 ワイヤレスパスター 12,312円、その他文房具 1,844円
備品費	65,000 (48,000)	148,040	148,040 (118,000)	83,040	タブレット端末 2台 148,040円
謝金	66,000 (60,000)	25,500	25,500 (20,000)	-40,500	理科教室講師 12,000円、美術鑑賞教室講師 5,000円、 平塚地区BBS会交通費 6,500円、しえんのまなび舎 2,000円
旅費・交通費	6,240 (2,000)	4,228	4,228 (3,000)	-2,012	理科教室打合せ 1,560円 研修会「子どもの未来応援フォーラム in 東京」 2,668円
支出合計	C 262,740 (210,000)	D 264,339	264,339 (210,000)	D-C 1,599	
③ 収支決算額	B 264,339円 - D 264,339円 =	0円			【備考】

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。

須賀の寺子屋 写真



小学生 理科教室 ごみの分別表作成



小学生 理科教室



理科実験 水の循環と濾過実験



中学生 学習支援

平塚市市民活動推進補助金 令和元年年度事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	ひろばの会	
2 事業名	ひろばの会 創立40周年記念事業	
3 コース区分 ・補助額	（以下のどちらかのコースを○で囲んでください。） 入門コース ・ 発展コース	11万円
4 実施期間	（開始期日） 平成31年4月29日	（完了期日） 平成31年4月30日
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>昨年暮れにDVD「カンタ！ティモール」をスタッフを中心に会員十数名が試写した。その後の感想で「この映画を広めたい」が波紋のように拡がり「40周年記念企画」に繋がった。</p> <p>ひろばの会40年史を振り返った時「平和」「教育」「人権」について学んできたことがこの映画によって更に深まることを期待する。またこのイベントでより多くの市民活動団体や個人に「広めたい」内容でもあるため、このことをきっかけに継続した交流をしていきたい。</p> <p>会報誌「ひろば」について 毎月200部印刷。主に図書館、ひらつか活動センター、男女共同参画課登録団体（30部）への配布は欠かさず行っている。 図書館には市民活動の記録として創刊号からの「ひろば」を閲覧できるので「研究」に役立つという意見も聞く。</p>	
6 実施した内容 活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>2日連日企画4月29日「講演会・交流」4月30日「上映会・監督トーク交流会」を実施した。</p> <p>参加者延べ96人（会員40名/一般56名）</p> <p>・4月29日・ひらつか市民活動センター 当会創立当初より定期学習会、講演会等で講師を務めて下さっている大森典子弁護士による講演会及び交流会。 演題「今、みんなが言葉を交わし、声を出す時」</p> <p>・4月30日・崇善公民館 映画「カンタ！ティモール」鑑賞及び広田監督のトーク、交流会。 映画の舞台は東ティモール国の独立への経緯を青年アレックスの歌に乗って展開されるドキュメンタリー。</p>	

<p>7 得られた 成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>事業への取り組みは、これまで地道に積み重ねて来たことを客観的に捉える効果があった。そしてスタッフそれぞれがキャリアで得た知恵を出し合いながら「事業を成功させよう」と努力したことは貴重な経験だった。</p> <p>① 参加者からの反応 後日、一般参加者から大森弁護士の論文が掲載された雑誌が送られて来た。掲載個所をコピーし、会からのメッセージを添えた小冊子を作成。会報誌「ひろば」（月刊）に同封し送付した。</p> <p>② アンケートから ・「ひろば 40 周年行事は素晴らしかったです。一般市民だけで自主的に運営されている組織でこれほど充実した内容の 40 周年の記念行事をされたことに驚きました」 ・「困難な時代は当分続きそうです。でもそうした時だからこそ灯をともし続けることが大切かと思います」</p> <p>③ 30 日の上映会では監督のメッセージで「この映画を広げるために無料 DVD レンタル」を提案された。持参された DVD は全て希望者に手渡された。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>4 月オープンしたばかりの新しい市民活動センターを会場にすることができてよかった。 しかし、ハプニングもあった。事前に館内設備の情報が得られず、困惑したり講師の乗ったタクシードライバーが「センター移転」そのものを知らなかったため、講師が「崇善公民館の 2 階らしい」ことを告げると旧崇善公民館前で降ろされてしまった。 大変、失礼なことをしてしまったと悔やまれた。</p>
<p>9 今後の 事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うのであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>事業を境に年度内集計で会員 7 名の増員があった。会の活性化に会員の増員は不可欠である。「躍進」と捉えたい。</p> <p>今後の課題は「若い人の考えを取り入れ、活動を展開」していく、である。次年度活動方針にも挙げ、共通認識を図った。</p>

活動・事業の収支決算書

※ 団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)		決算額 (円)		増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
	A	B	C	D		
補助金	110,000		110,000	0		平塚市市民活動推進補助金
参加費	60,000		48,000	-12,000		29日講演会 500円×28人=14,000円 30日上映会 500円×62人=31,000円 トーク 500円×6人=3,000円
ひろばの会より	0		52	52		ひろばの会より補てん
収入合計	170,000	B	158,052	B-A	-11,948	発展コース：補助対象経費 157,611円 × 90% = 141,849円 補助限度額 140,000円
項目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)		増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
講師謝礼金	80,000 (80,000)	80,000	80,000 (80,000)	0		大森弁護士 50,000円、広田奈津子映画監督 30,000円
講師旅費交通費	25,000 (25,000)	25,000	25,000 (25,000)	0		大森弁護士：町田往復 5,000円、広田監督愛知県往復 20,000円
印刷・コピー	2,600 (1,000)	4,565	4,565 (1,000)	1,965		ひろば印刷 1,775円 資料印刷 600円+2,000円、資料コピー 110円+80円
消耗品	4,256 (1,000)	6,345	5,904 (1,000)	2,089		封筒 506円、コピー用紙・ボールペン等 2,172、看板用紙 237円 看板 1,000円、写真代 1,989円、水 441円 (補助対象外)
通信・駐車場代	12,144 (3,000)	5,382	5,382 (3,000)	-6,762		ミッド資料送料1,782円、パーキング代金 3,600円 (900円×2名×2日分) (機材搬入の為)
生花	16,000 (0)	5,400	5,400 (0)	-10,600		舞台に飾る生花 5,400円 参加費より支出
著作権料	30,000 (0)	31,360	31,360 (0)	1,360		上映会映画著作権料 31,360円 参加費より支出
支出合計	170,000 (110,000)	D	158,052 (110,000)	D-C	-11,948	
◎ 収支決算額	B 158,052円	-	D 158,052円	=	0円	【備考】

※ 支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。



平塚市市民活動推進補助金令和元年度事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	ひなポンクラブ	
2 事業名	自治会キャラクターを活用した地域の活性化	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ 発展コース	24万円
4 実施期間	(開始期日) 平成31年 4月 1日 ~ (完了期日) 令和2年 3月 31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>32年前の自治会発足時は、他県からも日向岡に住居をする人たちがきて活気があったが、住民も高齢化して日向岡を離れていく人が自立し始め、空き家も増えてきた。また、自治会の役員を担うのを嫌って自治会を脱退する世帯も増え、子供達も減少。自治会のイベントも集まる人は同じ。元気や活気が感じられなくなりつつある。</p> <p>そこで、4年前に決まった日向岡のキャラクター”ひなポン“を着ぐるみにして、自治会活動に積極的に活用して、自治会行事の参加を住民に促すPR大使として自治会と住民を繋げ、住民同士もつながり、住んでいて楽しい雰囲気を作り出す。</p> <p>また、広報大使として日向岡の知名度を上げ、日向岡以外の地域ともつながり、その輪が広がり平塚市全体が盛り上がるよう貢献したい。それにより住民が誇りにおもえて住み続けたいとおもえる街にする。</p>	
6 実施した内容 活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>1 自治会の行事に登場して盛り上げ、住民と交流が図れた。</p> <p>8月 夏祭り 10月 キッズフェスタ 1月 駅伝、どんど焼き</p> <p>* キッズフェスタより補助金により製作したニューひなポンで登場。</p> <p>2、日向岡団地内の通学路交差点にて、1回/月が学童の見守りを実施</p> <p>2月から、12回実施。</p> <p>* 10月から、ニューひなポンで登場。</p> <p>3. 自治会以外の地域の行事にも登場して盛り上げと交流が図れた。</p> <p>10月 旭北地区レク 11月 旭ふれあいまつり</p> <p>1月 中央公民館フェスタ</p> <p>*旭北地区レクから、ニューひなポンで登場。</p>	

<p>7 得られた 成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 暑さ対策、メンテナンスなどの費用も考えて、業者の見直しや安価な材料費にて製作できたことで、それらのグッズを購入することができた。 ニューひなポンは視界が良好になり、単独でも動く範囲が広がり自治会以外でも中央公民館などからの依頼にも柔軟に対応でき、より広域な活動の幅が広がった。 平塚広域での活動により、他のキャラクター（ウインディ、キャンディ）と繋がることができ今後のきっかけがつかめた。 レク行事だけでなく学童の通学時見守りを定期的に行うことにより。住民に記憶されるキャラクターになれた。 サポーターのアイデアでマスコットの製作ができた。人気があり行事での活動のための寄付金の宣伝に効果があった。また、マスコット製作を通して住民の交流ができるアイテムとして期待が持てた。 “ひなポンの唄” “ひなポンダンス” も作ることができた。いろいろな行事でパフォーマンスを披露して盛り上げるアイテムができた。
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 着ぐるみに入る人が1人しかなく、負担が大きい。 夏の暑い時期の夏祭りなどは体力的につらく、もっと子供達と触れ合う時間を確保したい。 サポーターの募集を回覧で2回試みたが集まらなかった。 SNSで広報は、個人のFacebookにとどまり広がらなかった。 ”ひなポンダンス“のチーム作りを目指し、自治会内募集したが応募者がいなかった。 サポーターの増強が最大の課題で、 <ul style="list-style-type: none"> 自治会回覧で募集を継続 現在のサポーターによるクチコミ勧誘。 行事での呼びかけ などをしていく。
<p>9 今後の 事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うのであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 自治会の行事を中心に自治会を盛り上げる。 学童の通学時の見守りを継続して実施して、子供達に元気を与えたい。 サポーターを増加し、“ひなポンの唄” “ダンス” でより自治会盛り上げと平塚市広域なイベントに登場し、日向岡のPRと平塚を盛り上げたい。 引き続き、平塚市の他のキャラクターとつながり、平塚市を盛り上げたい “ひらつな祭り” に登場したい。 “ひなポン” マスコットの製作をしながら住民の交流ができるような場として“マスコットファクトリー” というサロンを開きたい。 ある程度の予算で着ぐるみが製作できることがわかったので、“ひなポン3号”を製作し更なる活動の幅を広げるべく計画していきたい。

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)	
補助金	240,000	240,000	0	平塚市市民活動推進補助金	
① 収入					
自治会費より	20,000	0	-20,000	自治会からの助成金がなかったため	
イベントの収益	20,000	0	-20,000	イベント開催がなかったため	
寄付金	40,000	30,607	-9,393	活動の賛同者からの寄付	
収入合計	A 320,000	B 270,607	B-A -49,393	発展コース：補助対象経費 237,876 円×90% = 214,088 円 補助限度額 210,000 円	
② 支出					
項目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
着ぐるみ製作費	320,000 (240,000)	227,187	227,187 (210,000)	-92,813	着ぐるみ製作費 196,416 円、着ぐるみアクセサリー 7,422 円、熱中症対策グッズ 9,379 円、メンテナンス用品 13,970 円
物品購入費	0 (0)	13,420	10,689 (0)	13,420	ひなポンプがジェット材料費 2,592 円、マスコット材料費 4,276 円、のぼり材料費 3,821 円、 <u>保存ボックス材料費 3,731 円</u>
支出合計	C 320,000 (240,000)	D 240,607	237,876 (210,000)	D-C -79,393	
③ 収支決算額	B 270,607 円 - D	240,607 円 =	30,000 円		【備考】 余剰金 30,000 円は返却します。

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。



8月の
日向岡
夏祭り。



朝の学童見守りのため、交差点にて、
(ニユ-ウホ-ンで登場)



“ワホロ” マスコット



2020/1 中央公民館 72ndにて
コンサートのステージに登場。
左は、カーンティン - トロキ
60

平塚市市民活動推進補助金 令和元年度事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	つるかめ 社中	
2 事業名	民謡踊りを楽しむ知的障がい者の活動	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。 入門コース ・ 発展コース)	17 万円
4 実施期間	(開始期日) 平成31年 4 月 1 日 ~ (完了期日) 令和2年 3 月 31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>つるかめ社中は障がい児者の余暇活動の充実を図るために結成された民謡踊りの会で、今年20年目を迎える。近年様々なイベントのステージに出演する機会が増えて、社会の認知や理解が高まってきていることを実感している。しかし、これまでの活動で小道具や音響機器の劣化故障は著しく、活動に支障をきたしつつあり、小道具、機材の更新が必須である。が、資金難により思うような更新ができずにいる。今後も練習に励み、一層の障がい者理解を得られるように活動を続けていきたい。障がい者の地域での居場所を確保していくことは公共の福祉や社会の豊かさにつながるものと考えている。</p>	
6 実施した 内容 活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>1. 定期的な民謡踊りの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なでしこ公民館及び茅ヶ崎市柳島記念館にて活動を実施した。 ・ 全9回 (①4/20②5/18③6/8④7/20⑤8/31⑥10/5⑦12/21⑧1/18⑨2/15) なでしこ公民館①②④⑤⑦⑨14:00~16:00 茅ヶ崎市柳島記念館③⑥10:00~12:00⑧11:00~14:30 (20周年を祝う会) ・ 延参加人数187名 ・ 花笠、アンプを購入した。積極的なダンスの動きを引き出す有効な楽器としてマラカス、アンプ運搬用バッグを製作するための布も購入した。有効に活用している。 <p>2. 近隣のステージ出演</p> <ul style="list-style-type: none"> ①6月8日(土)ひらつかタマ三郎漁港まつり→前日の荒天予報で出演辞退 ②9月8日(日)SunSunマルシェ 平塚市湘南海岸公園20名参加 ③10月20日(日)横溝記念まつり 大磯町横溝千鶴子記念障害福祉センターすばる16名参加 ④11月9日(土)フィエスタ翔 社会福祉法人翔の会 茅ヶ崎市中央公園 20名参加 ⑤11月24日(日)ひらつか市民活動センターまつり 21名参加 ・ 7月6日湘南ひらつか七夕まつり七夕ステージ出演のため、動画作成のPCソフトを購入して応募したが、選に漏れた。 ・ 3回のステージ計画が5回になったので老人ホーム訪問は断念した。 <p>3. なでしこ公民館まつり ステージ発表 2月29日(土)出演予定のなでしこ公民館まつりは、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、中止となった。</p>	

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>今年度はステージ依頼が増え、近隣のイベント出演は年間3回の予定が5回となった。応援して下さる方々の理解と活動の積み重ねが実を結んできている。補助金で購入した花笠、マラカス、アンプでメンバーの意気込みが高まり、踊りも少しずつ上達が見えて活動が活気付いた。</p> <p>SunSunマルシェは台風を心配しつつも、手作りの店が並ぶ中の一区画の芝生のステージで元気よく踊り、新しい経験ができた。出店者に励まされたり、その後出会った方から、「SunSunマルシェに出ていましたね！」と声をかけられるなど、眼前の観客はわずかでも会場のどこからか観て知っていただいたことを実感して、場を踏むことの大切さを感じた。初参加で不安だったが、スタッフの障がい者理解が深く、的確で親身な対応が有難かった。</p> <p>大磯の横溝記念まつりは小さなフラットステージだったからか、観客の高齢な方と障がいのある方が飛び入りで参加して下さった。初めてのことで驚いたが、とても気持ち盛り上がり、共に楽しく踊ることができた。</p> <p>茅ヶ崎のフィエスタ翔は大公園のフラットな野外ステージでたくさんの客席が用意されていた。観客の眼差しの温かさが直に伝わってきて感激した。メンバーの知人が多数観て褒めて下さったので、成就感があった。</p> <p>ひらつか市民活動センターまつりは真新しい舞台に、メンバー全員が久々に揃って踊ることができ、充実感があった。観客の手拍子が大きくてとてもうれしかった。</p> <p>踊る場所が変わると地域の方（観客）が変わり、イベントの特色（一般・福祉関係）やその地域なりの受け入れ方があった。メンバーもスタッフも場を踏むことで新しい経験をして成長でき、ステージ度胸もついてきた。行く先々で存在を知っていただいたことがよかった。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>ステージ依頼により活動の広域化（大磯・平塚・茅ヶ崎）が実現した一方で、メンバー、サポーター、スタッフの高齢化により、活動へのそれぞれの対応の難しさが顕在化してきた。初めての場所でのステージ出演に伴う不慣れな道の車の運転の不安と乗り合わせ問題、隣接市町村への心理的距離の遠さ、体力の低下等、様々な問題が浮上した。これまで、ステージ出演日はステージ近くに場所を確保して事前リハーサルをしてから本番に臨んでいたが、現地集合・リハーサルなしで本番とし、そのイベントを楽しんで帰宅という方向に変え、少しでも体力温存、負担軽減をすることにした。</p> <p>サポーター（送迎の親御さん）の高齢化に伴う車の運転については今後の大きな課題である。定期的な活動については、個別に十分検討して対応を考えていただく。ステージ時は場所によって対応が変わるのでその都度十分に話し合って、タクシーの相乗り等で無理のないように安全に楽しく活動できるように対処していきたいと考えている。</p> <p>また、地球温暖化の影響かイベント時の荒天予報で特に野外のステージでは悩まされることが多かった。事前の予報でステージの足元が不安になり辞退したら、当日好天になった残念な思いも経験した。最近の傾向で団体の意向を尊重して下さることは有り難い。団体としての判断も非常に難しいが、メンバーファーストで対応していきたい。</p>
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>今年度補助金を受けて花笠を更新し、音響機器、マラカス等を整備することができた。結成20年の節目に改めて背中を押された思いで感謝している。これで普段の練習はもとより発表において、音響機器が不備な場所でも思い煩うことなく、十八番の花笠音頭や新しいダンスを披露することができるようになった。今後の活動に活かしていきたい。</p> <p>来年度もなでしこ公民館での定期的な活動を基にして、近隣のイベントのステージ出演や老人ホームの訪問など発表の場にも積極的に参加していきたい。</p> <p>今回の新型コロナウイルス禍で普段の暮らしを大幅に制限されたメンバーが母親に「つるかめは？（いつできるの）」と尋ねたという。なんとうれしい言葉だろう。メンバーにとって、つるかめ社中は楽しく待ち遠しく、かけがえのないものになった。ゆっくりした歩みでもみんなで力を出し合って楽しみを更に大きくしていきたい。</p> <p>障がい者理解を大きな声で求めるのではなく、好きなことを楽しんでいる姿を発表し、目の端に入れていただき、誰もがみんな普通に生きていることを知ってもらうことが、まずは大切なことと考えて活動を継続して生きたい。</p>

活動・事業の収支決算書

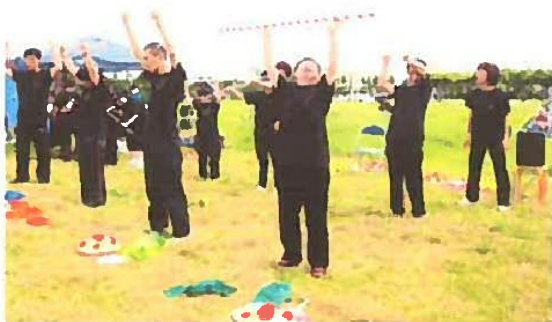
※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
補助金	170,000	170,000	0	平塚市市民活動推進補助金
① 収入				
団体会員の会費	20,000	22,529	2,529	団体会員年会費の一部を事業費に充当
収入合計	A 190,000	B 19,2529	B-A 2,529	発展コース：補助対象経費 192,529 円 × 90 % = 173,276 円 補助限度額 170,000 円
② 支出				
物品購入費	183,500 (170,000)	184,743 (170,000)	1,243	花笠40,500円 アンブレ128,520円 アンブレバッグ布2,444円 (アンブレを運搬するバッグ作製のため) マラカス7,700円 (ダンスの種別のな動きを引き出すため) PC動画ソフト5,579円 (セタステージ応募の動画作成のため)
消耗品費	5,000 (0)	5,656 (0)	656	花笠送料2,300円 切手代1,012円 CDR1,694円 マラカス送料650円 (マラカス購入により追加)
印刷費	1,500 (0)	2,130 (0)	630	PCインク代 2,130円
支出合計	C 190,000 (170,000)	D 192,529 (170,000)	D-C 2,529	
③ 収支決算額	B 192,529 円 - D 192,529 円 =			【備考】

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。

2019年度 つるかめ社中の活動



2019/9/8 SunSunマルシェ 平塚市湘南海岸公園
＜そうらん節＞



2019/9/8 SunSunマルシェ 平塚市湘南海岸公園
＜踊ろう！＞



2019/10/21 横溝記念まつり ＜踊ろう！＞
大磯町横溝千鶴子記念障害福祉センターすばる



2019/11/9 フィエスタ期 社会福祉法人期の会
茅ヶ崎市中央公園 ＜遊び盛＞



2019/11/9 フィエスタ期 社会福祉法人期の会
茅ヶ崎市中央公園 ＜セタおどり＞



2020/1/18 つるかめ社中 20周年を祝う会
茅ヶ崎市柳島記念館



2019/11/24 ＜花笠音頭＞
ひらつか市民活動センターまつり



アンブ・バッグ・マラカス活躍中

平塚市市民活動推進補助金

31年度事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	親と子の寺子屋ふれあい自遊塾	
2 事業名	増え続ける子どもの諸問題への予防・軽減・回復事業	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ 発展コース	29万円
4 実施期間	(開始期日) 平成31年 4月 1日 ~ (完了期日) 令和2年 3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>子どもの心の成長には、親や仲間と安心できるかかわりあいや遊びが不可欠であると専門家は指摘するが、その意味をしっかりと認識する親は少ない。理解しても勉強や習い事優先になってしまう。親自身の遊び体験も乏しい。ネットゲームの普及もあって人間関係の希薄化が一層進み小学校低学年の諸問題が増え、思春期以降の不登校や引きこもりの要因となっている。3歳までの子育て支援に比べ集団生活が本格化する幼児・学童期への支援は手薄である。行政の手が届きにくいこの時期の親子を支援することで心の諸問題の予防と軽減につなげたい。</p> <p>具体的には、「楽しみながら思考力、コミュニケーション力が鍛えられる」、「相互作用があり心が成長する」と有識者が推奨するテーブルゲームを活用し、臨床心理士グループによる心理教育的プログラムを組み込んだ『心の子育てWS』を提供する。</p> <p>活動趣旨の啓発と展開のために、次の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ゲーム大会開催 ②各種イベント参加及び活動趣旨を啓発するための広報展開 ③親や指導者養成研修会開催、個別相談・対応の充実 ④無料体験WS 	
6 実施した内容 活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> ①親子テーブルゲーム大会 対象：3~10才位の子どものとその保護者 共催：崇善・富士見・花水・公民館、実施日：8月18日（日） 実施場所：崇善公民館 内容：ゲーム、小麦粉粘土遊びと気持ちの振り返りや呼吸法、ミニ講話。臨床心理士2名が5件の相談を受けた。参加14組34名 ②各種イベント参加 サンサンマルシェ 5/12、八幡保育園 8/6、10/19、浅間祭 11/9・10、岡崎公民館家庭教育学級 11/23、市民活動センター祭り 11/24、ちゅうおう FESTA1/26 参加総数約520名 *①、②の中で活動趣旨、遊びの重要さを啓発 ③子ども支援者、指導者養成を兼ねた研修会 9/6~11/7 全6回 参加総数53名 個別相談31件 ④無料体験ワークショップ 4/21・28 参加19組55名 <p>*活動全体を通してチラシ、リーフレットなどを配布するなど活動趣旨と遊びの重要さについて積極的な啓発活動を行った。 *③研修会開催は予算の関係で6回となった。 *④無料体験ワークショップは3月にも予定し、小学校、幼稚園、保育園、公民館、図書館などにチラシ2,500枚を配布したが、新型コロナウイルス感染予防のため実施を中止した。自宅で過ごすことが多くなった子どもたちに、緊急に手持ちのゲーム無料貸し出しをひらつか西海岸デポで3回実施予定。3/14・25・26、連携する子ども支援団体にも貸し出した。</p>	

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>①親子テーブルゲーム大会終了後のアンケートでは「よかった」82%、「まあよかった」が18%と回答、「どちらでもない」以下は0、高評価を得た。「子どもとじっくり向き合えた」、「昨年参加、子どもの成長が分かって嬉しい」、小学校特別支援教員から「子どもへの接し方を学びたくて」との感想が記された。父親参加も多い。参加者が少なかったが、落ち着いてゲームに取り組むことができた。</p> <p>②各種イベントに可能な限り参加している。「〇〇で遊んで楽しかったの」と繰り返し参加する親子もいて家族で遊ぶテーブルゲームに慣れ親しんできていると思われた。3年前に継続参加した親子が友人と一緒に訪れ「子どもが今でも懐かしんでいる、入浴中、曇った鏡に『今の気持ちはね』と気持ちを表現する顔を描いている。それを報告したくて」と成果のフィードバックがあった。</p> <p>③今年度は教員、幼稚園教諭、公認心理士、子ども支援者などが対象、専門的な深い学び合いとなった。現場に役立つのではと思われる。教育委員会後援担当者からねぎらいの言葉をいただいた。ワークショップには発達の課題ある子どもも参加しており、障害児への提供を真剣に考える時期となった。放課後等デイサービスとの連携が強まった。</p> <p>④無料体験はチラシ、地域紙で広報、38件の問い合わせがあり最終的に連続クラス希望者19組を3クラスで実施、継続につながった。発達、心理面での課題を持つケースが目立った。終了後参加自由クラスやイベントに継続参加している。</p> <p>*八幡保育園年長児に4月から心理教育的プログラムを実施したところ、担任から「自己表現、思いやりなどの社会性が成長し、驚いた」との感想があった。子ども集団での実施に有用なことを確認できた。</p> <p>*緊急時のゲーム貸し出しは、親から「とても嬉しい」と大変好評であった。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>*親子テーブルゲーム大会の参加者数が減少した。3公民館共催としたため地域限定となったこと、申し込み制としたことが関与していると思われる。今後どのような形がいいのか課題である。</p> <p>*4月の無料体験は、チラシを小学校はじめ子ども関連機関に多数配布し、多くの問い合わせがあった。公民館の利用回数に限度があるため他の会場探しやスタッフの手配が難しかった。</p> <p>*コロナウイルス感染予防のため休校となった子どもたちが家庭でどのように過ごすのか、電子ゲーム漬けになることを心配した。手持ちのゲームを無料貸し出ししようとしたが公民館が閉鎖となり貸し出し拠点探しに苦労した。災害時には子どもの心が不安定になりやすい。遊びは心のケアとして重要であることから、災害時などに迅速に遊びを提供し、また心の安心・安全を高めるためのシステムやアナウンスが必要であると痛感した。</p> <p>日本臨床心理士会は、3月2日心のケアについてメール配信しているが、専門家向けであり、子どもにかかわる組織や親子にはまだ届いていない。必要な情報を適切な形でアナウンスすることなど今後の平塚市の課題でもあろう。</p> <p>*多くの親子にいい体験を提供したいとできるだけイベント参加を心がけているが、会員の高齢化により打ち合わせ、準備などの負担が大きくなっている。若い会員を増やすことが課題である。</p> <p>*今後の運営について、収入面で不安である。</p>
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うのであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>*5年間の活動を通して、遊びを通した心理教育的プログラムの成果を実感している。また発達や心理面での課題に直面している親子が目立っていることなどを考えると、活動の継続、拡大と充実が極めて大きな課題となっている。</p> <p>今後他機関との連携を強めるなどして、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ワークショップの内容充実と継続、できれば拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・他の公民館や幼稚園、保育園にも出向いて実施（他機関との連携） ・発達障害児を対象とした個別療育、ワークショップの実施 2) ゲーム大会、公民館祭りなどイベントにできるだけ参加し、神奈川県教育委員会ファミリーコミュニケーション推進運動に協力。 3) 遊びの重要さの啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動 ・ゲームの貸し出し事業 ・親への研修 4) 人材育成や研修、講座に関して、他の臨床心理士に働きかけ賛同と協力を得る。 5) 災害時などでできるだけ早く心理教育的プログラム提供によって子どもの心のケアを図るシステムを視野に入れたい(遊びの持つ力を活用したワークショップの出張開催、ゲームの無料貸し出し拠点づくり他)。

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)	
補助金	290,000	290,000	0	平塚市市民活動推進補助金	
参加費	102,500	69,600	-32,900	ゲーム大会 300円×14組=4,200円、1,000×53人=53,000円 イベント 100円×124人=12,400円	
フリーマーケット	10,000	4,490	-5,510		
会費、寄付	40,946	89,554	48,608		
収入合計	A 443,446	B 453,644	B-A 10,198	発展コース：補助対象経費 433,644円×70%=303,550円 補助限度額 300,000円	
項目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
① 収入					
イベント開催、参加	42,500 (40,000)	37,500	37,500 (35,000)	-5,000	参加費 2,500円、有償ボランティア (ゲーム大会、漫遊祭、中央フェスタ他) 延べ35人×1,000円=35,000円
講師謝礼	150,000 (100,000)	165,000	145,000 (100,000)	15,000	ゲーム大会、岡崎公民館相談、15,000円×3人=45,000円、研修会 20,000円×6回=120,000円 (内1回内部講師)
広報費	100,000 (60,000)	47,915	47,915 (45,000)	-52,085	リーフレット 2,000部 19,102円、チラシ 2種類 (デザイン、印刷含む)、21,333円、コピー印刷代 7,480円
事務用品費	21,000 (10,000)	20,300	20,300 (10,000)	-700	OAインク 9,440円 用紙 1,578円 サインペン・封筒他 9,282円
交通通信費	74,440 (40,000)	85,571	85,571 (50,000)	11,131	スタンプ交通費 54,260円、講師交通費 2,000×9回=18,000円、運搬費 (タクシー代他) 6,629円、サーバー、切手代 6,682円
物品購入、教材費	55,506 (40,000)	97,358	97,358 (50,000)	41,852	論語カード 9,320円、ゲーム購入 79,200円、書籍 8,838円
支出合計	C 443,446 (290,000)	D 453,644	433,644 (290,000)	D-C 10,198	
③ 収支決算額	B 453,644円 - D 453,644円 =	0円			【備考】

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。

2019年度 親と子の寺子屋ふれあい自遊塾活動風景

4月21日（日）

無料体験ワークショップ

申し込みが多く、
3クラスに分けて実施しました。
ほとんどの子どもが
「またやりたい」と連続ワーク
ショップにつながっています。



5月12日（日）サンサンマルシェ初参加

未来経験プロジェクトさんと共催
青空のもと、親子で気持ちよく
遊んでいました。



9月～11月6回連続講座
延べ53名参加

参加は教員、幼稚園教諭、公認心理士、放課後デイサービス支援者などで深い内容となりました。終了時は「終わってしまうのがさみしい」との感想がありました。現場に生かせるのではと思います。指導者育成が期待されます。



2020年1月26日(日)
中央公民館ちゅうおう FESTA

家族そろっての参加が目立ちました。

「昨年も参加しました。子どもと向き合って遊ぶってなかなかないので…」
3、4年前に参加した親子さんが久しぶりに来てくださり、懐かしい出会いもありました。その後の様子から活動の成果を確認することができたのは嬉しいことです。



● 平塚市市民活動推進補助金審査会

平塚市市民活動推進補助金審査会は、市民活動や地域活動に関し、専門的知識又は学識経験を有する者から構成されています。補助金の交付の対象・補助額の審査選考を行います。

委員	藤巻 裕之	東海大学 政治経済学部 政治学科 准教授
委員	東樹 康雅	公益社団法人日本フィランソロピー協会 事業部マネージャー
委員	藤井 京子	一般社団法人 ソーシャルコーディネートかながわ 理事 准認定ファンドレイザー
委員	寺山 泰郎	平塚の在宅ケアを考える会
委員	佐藤 由美子	ほん和かママ 代表
委員	横田 裕	フェニックスサービス(株) 代表取締役
委員	加藤 茂	平塚市自治会連絡協議会 幹事 豊田地区自治会連絡協議会 会長

●平塚市協働のまちづくり基金への寄附を募集しています！

当補助金は、平塚市協働のまちづくり基金を財源としています。平塚市協働のまちづくり基金は皆様からの寄附により支えられています。みなさまの温かい御寄附をお願いいたします。

◇寄附の方法

銀行振り込み、直接持込み等さまざまな方法があります。協働推進課に御連絡ください。また、ひらつか市民活動センター窓口では古本と寄附金が引換えになる「たすけ愛古本市」も開催中です。

◇税金の控除

ふるさと納税の制度を使って、平塚市へ寄附をしていただくと、多い方で寄附金の9割以上の金額の税金が控除となります。(詳しくはお問い合わせください。)

◇いままでに協力いただいている寄附の紹介

令和2年3月31日現在

寄附氏名・団体名・企業名等	金額
市川商事株式会社 様	計 1,155,827 円
市民病院売店組合 様	計 415,095 円
神奈川県立平塚江南高等学校 生徒会 様	非公開
社団法人 平塚青年会議所 様	非公開
積水ハウス株式会社湘南支店 様	計 208,000 円
株式会社 一平不動産 様	計 245,227 円
スーパーD´ステーション平塚駅前店 様	計 250,000 円
公益信託ひらつか市民活動ファンド受託者 三菱 UFJ 信託銀行 様	計 1,205,072 円
湘南リンパ四季の会 様	計 21,000 円
ひらつか市民活動センターまつり実行委員会 様	計 106,663 円
ふくろうの会 様	非公開
NPO 法人 湘南NPOサポートセンター 様	計 3,000 円
NPO 法人 うらら 様	非公開
ひらつか市民活動連絡協議会 様	計 10,731 円
ひらつか自治体財政研究会 様	計 397,894 円
千葉 英司 様	計 10,000 円
熊沢 博樹 様	計 10,000 円
一般社団法人 日本リンパ協会 様	計 20,000 円
ペットキャップリサイクル湘南	非公開
グランドホール金目店 様	計 165,200 円
その他(たすけ愛文庫)	計 1,098,946 円
その他(募金箱等)	非公開
合計	8,214,930 円

◇たすけ愛自動販売機(社会貢献型自動販売機)◇

飲み物を買うと、その売り上げの一部が寄附となる自動販売機です。設置してくださる方を募集中！

設置協力企業の紹介：市川商事株式会社 様／横浜銀行平塚支店 様／浜岳産業株式会社 様／

平塚市民病院売店組合 様／湘南倉庫運送株式会社 平塚営業所 様／